

わたしたちの江田島！！

～資料を使って意見文を書こう～

計24人

「固有種が教えてくれること」「グラフや表を用いて書こう」（光村図書）

本単元で育成する資質・能力

読解力、協働する力

1 本単元の指導目標とめざす児童の姿

<p>【指導目標】 思C（1）ウ、思B（1）エ</p> <p>◎ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。</p> <p>◎ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。</p>	<p>【キーワード】</p> <p>① 文章と図表などを結びつける。</p> <p>② 筆者の意図</p>
<p>【単元終了後にめざす児童の具体的な姿】</p> <p>① 図表が用いられている文章を読み、文章と図表を関連付けて読み進めることができる。また、社会など図表が多く用いられている教科に活かすことができる。</p> <p>② 総合的な学習の時間で調べている江田島の海について、効果的な図表を選んで自分の意見文を書くことができる。</p>	

2 想定される児童のつまずきと手立て

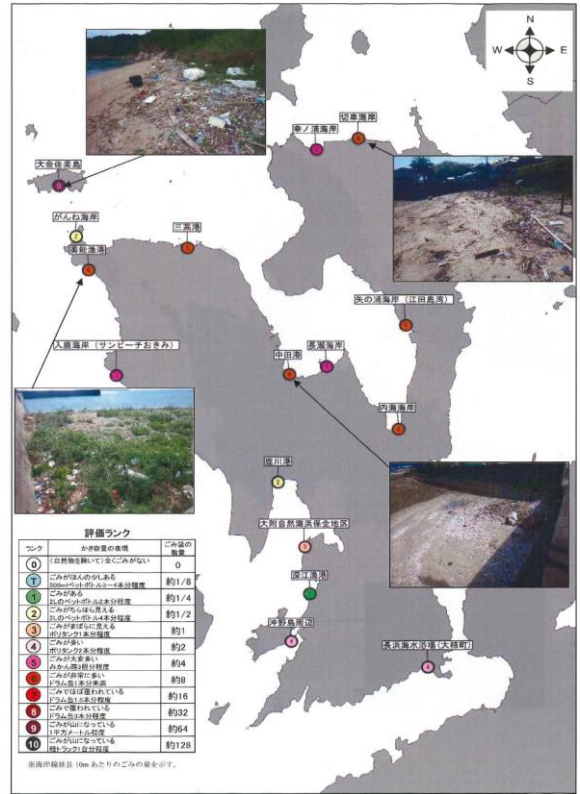
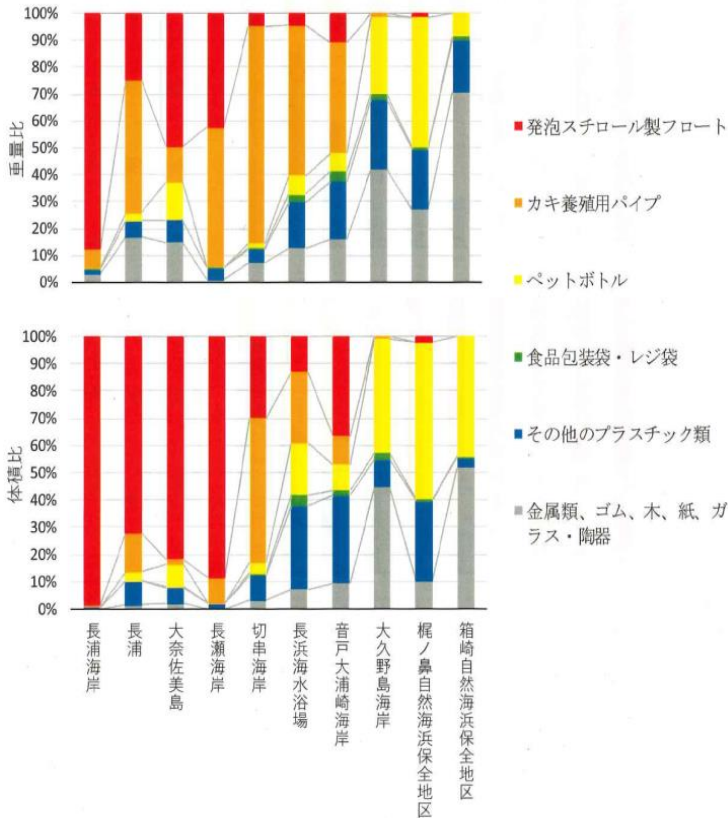
- ・自分の文章と図や表を結び付けることができない。
- 友達と話し合ったり、読み合ったりする活動を取り入れることで資料との関連を明確にして意見文を書き進めることができるようにする。また、読み技のコツとして工夫をまとめることで自分が実際に意見文を書くときの手立てとする。

3 単元計画（全10時間）

次	時	学習内容や学習活動	学習する事柄	評価規準（評価方法）
一	0	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間に調べていることについて意見文を試しに書く。 ・意見文を書き、農林水産課の人に届けることを学習のゴールとして設定する。 		
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間に書いた意見文を読み、更に分かりやすく伝える為にはどうすれば良いか考え、学習計画をたてる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画の立て方 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールをイメージし、意欲的に学習計画をたてることができている。（発言）
二	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「固有種が教えてくれること」の文章を読み、「はじめ」「中」「終わり」のまとまりに分ける。 ・筆者の考えを捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えの中心 	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ」「終わり」を読んで筆者の考えの中心を捉えることができる。（発言・ノート）

	3 本 時 4 5	・文章と資料を結び付けたり、その効果を考えたりする。	・資料の効果	・文章と資料を結び付けて内容を捉えるとともに、その意図や効果を考えている。 (発言・ノート)
	6	・筆者の考えに触れながら「固有種が教えてくれること」の文章をまとめる。	・要旨	・筆者の考えに触れながら要旨をまとめている。 (ノート)
三	総 合	・海についての意見文を読み直し、自分の意見に合った資料を総合的な学習の時間にさがす。		
	7	・資料の読み取りをする。 ・統計資料の読み方を理解する。	・資料の効果（応用） ・統計資料の読み方	・自分の主張の助けとなる資料を選び、読み取っている。(発言・ノート) ・目盛りや単位、調べた時期や対象など、統計資料を読むときの注意点を理解している。(発言・ノート)
	8 9	・意見文の構成を見直し、資料を使って書き進める。	・文章構成	・資料から分かる事実と自分の考えを分けて書くことができる。(ノート)
	10	・意見文を読み合い、グループで改善点を話し合う。	・推敲	・友達の意見文を読んで、優れた点や改善点について伝えることができる。 (発言)

4 言語活動の見本



江田島の海はきれいとは言えない

植木 勇磨

ぼくは、江田島の海は、きれいとは言えないと思います。なぜなら、江田島の浜辺にはたくさんのごみが落ちていているからです。SUPや釣りに行った時に浜辺や海に浮いているゴミをよく見かけます。

上の資料は、広島県が調査した海岸漂着物実態調査の江田島市のデータです。これを見ると、ゴミが多いと評価された地点が16か所中12か所もあります。ゴミの種類は発泡スチロールやかきの養殖用パイプが多いそうです。江田島で盛んなかきの養殖をする際に出ているゴミが多いことが分かりましたが、プラスチックや発泡スチロールは自然に還らない為、海を汚す原因になったり、海で暮らす生き物が誤飲し、死に至らせてしまったりと、マイナス面も多いと考えました。

このように、資料を基に江田島の海はきれいとは言えないということを述べました。人間だけではなく海に生きる全ての生き物にとってきれいな海を取り戻すことは、今を生きる我々の責務であり、一人一人が海にゴミを出さないように気を付けるべきだと思います。

5 本時の学習（3/10時）

（1）本時の目標

文章と資料を結び付けて読み、その効果を考えることができる。【思C（1）ウ】

（2）学習展開

	○学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
0	<p>1 めあてを確認する。</p> <p>○前の時間に捉えた、『固有種がすむ環境をできる限り残していけないといけない』という筆者の考えの根拠を『中』の部分を読みながら見付けていくことを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">筆者の考えの根拠を見つけよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を振り返ることができるよう、学習計画表を掲示しておく。 	
5	<p>2 理解を確認する。</p> <p>○教材文「固有種が教えてくれること」の3段落を読み、資料に出てくる数値や言葉が出てくる文章に線を引いたり、資料の数値と文章を線で結んだりして、対応している場所を見付ける。</p> <p>○3段落に資料1を使った筆者の意図について、グループや個人で考え、ワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表にしてあると2つを比較しやすいね。 地図を見るとパッと分かるからかな？ <p>○筆者が3段落で伝えたいことは何か、1文にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章中に出てくる表が、文章のどの部分と結びつくのかを明らかにすることで論の進め方を捉えることができるようにする。 筆者がなぜその資料（表の数値）を出したのか考えさせ、筆者の伝えたいこと（日本に固有種が多いことを固有種の少ないイギリスと比較して際立たせている）に繋がっていることに気付かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> 表を使うと比較しやすい 地図を使うと一目で分かる。 資料を使うと文章を補える </div>	
25	<p>3 理解を深める。</p> <p>○4・5・6・7段落を読み、文章に線を引いたり、資料2と文章を線で結んだりして、対応している場所を見付ける。</p> <p>○4・5・6・7段落に資料2を使った筆者の意図について、グループや個人で考え、ワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 図が4つ並べてあるから変化が分かりやすい。 年表と絵も対応しているね。 <p>○筆者が4・5・6・7段落で伝えたいことは何か、1文にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章だけでは分かりにくい、資料があることで、分かりやすさ・伝わりやすさが変わってくることを捉えさせる。 速くまとめられた児童には、次の資料を読み取らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> 2つの資料を対応させると、より分かりやすくなる。 年表を使うと時系列が分かりやすい </div>	<ul style="list-style-type: none"> 文章と資料を結び付けて内容を捉えるとともに、その意図や効果を考えている。（発言・ワークシート）
40	<p>4 本時の学習をまとめる。</p> <p>○文章と資料を対応させながら読んできたことについて振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を読み進める時は、文章と資料を対応させながら読むことで筆者の伝えたいことに説得力が高まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が伝えたいことを正確に読み手に伝えるためには、筆者は言葉だけでなく、資料も選んでいることを押さえる。 	

